

ふれあいのある心豊かなまちをめざして

南部まちづくり協議会 まちづくり計画  
- 港小学校区 地域計画 -  
2011~2020

*local community plan , NANBU*



# 目次

はじめに	1ページ
1. 港小学校区はこんな地域 —現況と特徴・課題—	4ページ
2. こんな地域になったらいいね！ —港小学校区の将来像とまちづくりの目標—	8ページ
3. こんな地域にしていこう！ —まちづくり戦略計画—	9ページ
4. こうやって取り組んでいこう！ —まちづくりの推進方策—	21ページ
5. 参考資料	22ページ

## (1) はじめに

高浜市では、平成17年に構造改革を進める中で、市民が主役の協働のまちづくりを推進するための基盤づくりが進められました。

その第一歩として、すべての地域に地域づくりの核となる「まちづくり協議会」を設立し体系的活動も計画されました。また、地域内分権推進事業交付金を財源として住民が主体的に地域の特色を活かした地域づくりに取り組む仕組みづくりも行われてきました。

こうした中で、南部まちづくり協議会が発足し、平成21年度で5年目を向かえ、地域づくりを主体的に担う団体としてその活動も定着しつつあります。今後に向け「市民が主役」の協働のまちづくりをさらに推進するために、次のステップとして、**地域計画を地域住民自身の手で作成していきたいと考えています。**

## (2) 協働のまちづくりとは

少子高齢化や人口減少社会を迎える中、安全・安心で活力のある地域社会をつくっていくためには、これまでの行政主導の画一的なサービスではなく、多様化する住民ニーズや変化する地域の実情に合ったきめ細やかな対応が必要と思います。

そのためには、福祉・環境・防災などの住民に身近な課題や魅力あるまちづくりについて、そこに暮らす人々が自ら考え、自ら解決していく住民主体のまちづくりが必要と考えます。

「協働のまちづくり」は、「自分たちの住むまちをこんなまちにしたい」とか「こうなったらいいな」という思いを、そこに住むみんなが行動し、そして実現していく活動のことを言います。市民がやるべきこと、行政がやるべきこと、共同してやるべきことなど、それぞれ役割を分担しながら、**市民と行政がお互いに知恵を出し合い、協力して目指すまちづくりを進めていくことです。**

## (3) 地域計画とは

地域計画は、地域住民と行政が知恵を出し合い、それぞれの役割や責任を再確認し、**住民が自分たちで地域の将来像や課題、自分たちの地域をどうしたいか考えて、その課題の解決方法や将来像を実現する方法などをまとめたものです。**

地域計画に基づいて、地域住民自身の手でまちづくりを進めていくことにより「住民主体のまちづくり」にもつながり、行政だけでは解決できない地域の実状に基づく課題や情報を地域と行政で共有することができます。住民ニーズの多様化・高度化、厳しい経済状況、市民活動の活発化、本格的な地方分権などに的確に対応していくためには、これまでのような行政主導による一律のまちづくりから、協働で住民と行政によるまちづくりを進める「地域計画」が必要と考えます。

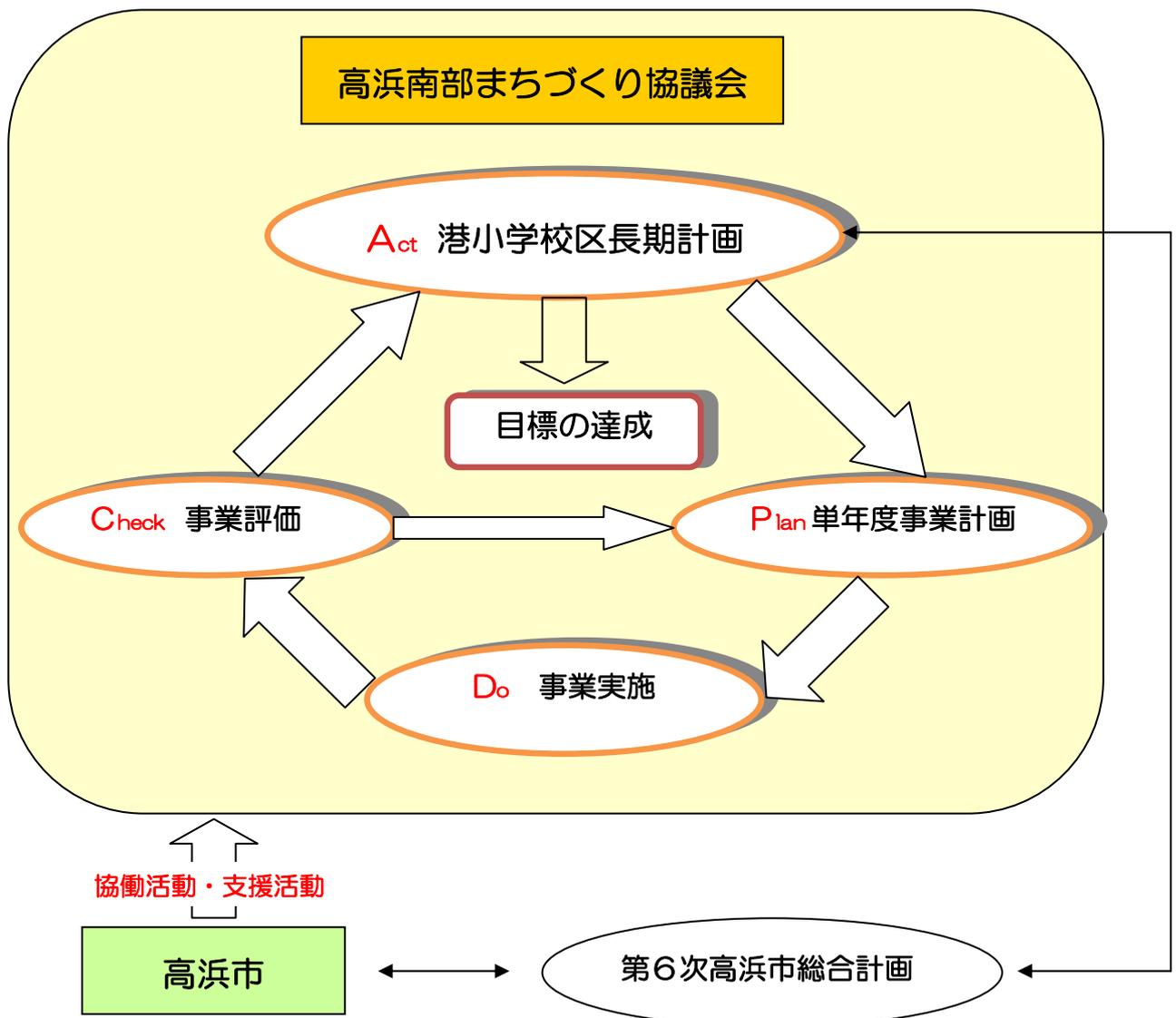
## (4) 計画の進め方と目的

地域目標の達成に向けて、施策や具体的事業を盛り込んだ概ね10年を期間とする計画を作成し、その計画に基づき単年度事業を実施します。**毎年度事業の実施状況を評価し、当初の事業目的や数値目標が達成されているか、実施方法に問題はなかったかなどの解析を行い、次年度以降の事業展開に活かします。**

また、計画期間満了時に計画そのものの総合的な評価を行い、新たな課題の抽出なども含め、次の地域計画に反映させていきます。

地域の住民が地域のことについて互いに話し合い、その結果、**人材の育成や住民力、地域力の向上が図られ、新しい活動が創出されることが期待できます。**地域計画は、地域自治による安全・安心で活力ある地域社会を築いていくための有効な手段と言えます。

(事業計画推進管理サイクル概念図)



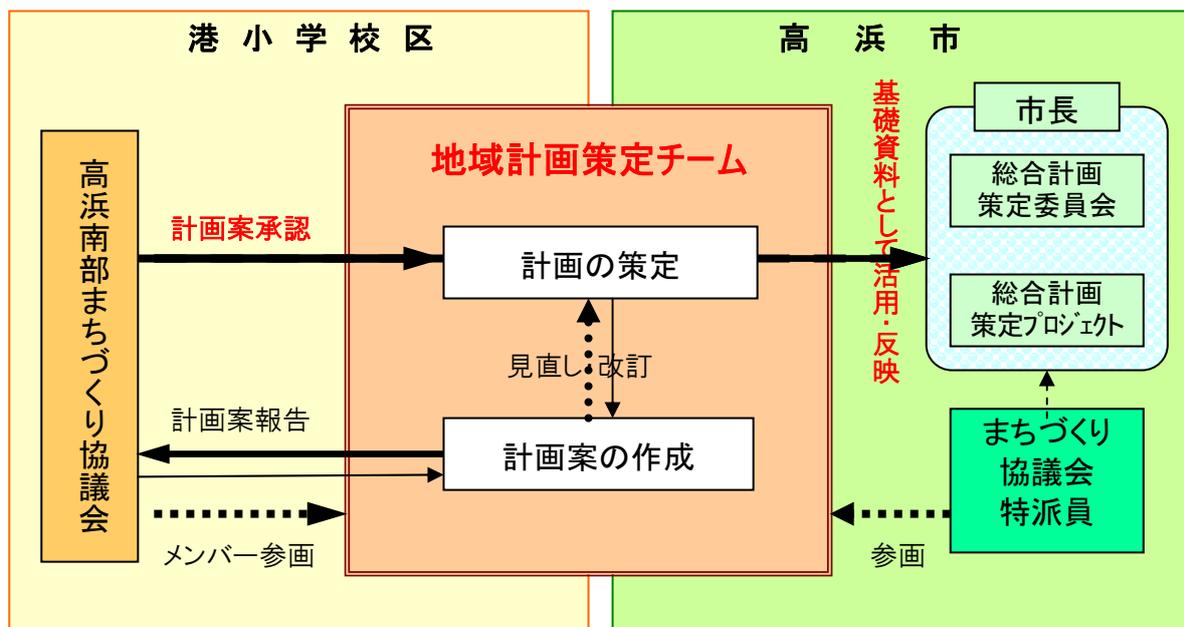
## (5) 計画の構成と期間

計画期間は10年間とし、5年ごとに見直しを行うとともに、当面、5年間に実施するまちづくり事業については、アクションプログラムとして位置づけます。

## (6) 策定体制

地域計画は、まちづくり協議会で選任された地域住民とまちづくり協議会特派員（高浜市職員）で構成する「地域計画策定チーム」が中心となって協働で作成し、まちづくり協議会で検討・承認します。

(計画策定の概念図)



- ▶ メインルート
- .....▶ サブルート
- ▶ フィードバックルート

# 1. 港小学校区はこんな地域 ー現況と特徴・課題ー

## (1) 港小学校区の概要

港小学校区は、高浜市の最南部に位置し、地区の中央部を稗田川と合流した高浜川が東流して衣浦湾にそそぎ、臨海部には工業地帯が展開するとともに、内陸部には住まいとやきもの工場が混在した地域となっています。

## (2) 港小学校区の特徴

### ・ 「小面積、少子高齢化、人口微増の傾向」

本地区は平成 21 年 4 月現在、人口 6, 261 人で、市内では最小規模です。平成 10 年～15 年のデータによるとその 5 年間の人口増加率は 3. 8% で最も低くなっています (図 I) が、その後現在までの増加率は 5 校区の中で 4 番目となっています。平成 19 年度時点で高齢化率は 5 校区の中で 2 番目に高く、少子化率も 5 校区の中で最も高くなっており (図 II)、現在も順位的な変化はありません。

### ・ 「小規模工場の減少と住宅地の増加が進展」

本地区は、平成 20 年度現在、市街化区域面積の割合が 79.1% で、5 校区の中で 3 番目の割合です。市街地は、内陸部の住まいとやきもの工場が混在した住工混在地域、臨海部の工業系地域からなっており、近年住宅地へ転換が進んでいます。(図 IV)

### ・ 「主要幹線道路は短距離、細い生活道路が多い」

交通条件は、名鉄三河線の鉄道駅がない地域で、南北交通として本市の中心地区と結ぶ都市計画道路碧南高浜線、主要地方道名古屋碧南線が通るとともに、東西道路として地区の外周を通る都市計画道路西尾知多線などがあります。

### ・ 「市の資産は平均的に保有」

公共施設としては、港小学校、南中学校、南部公民館、図書館・郷土資料館、勤労者体育センター、武道館、老人憩の家、デイサービスセンター、洲崎公園、碧海公園、外淵公園、南部ふれあいプラザなどがあります。

### ・ 「特徴的地域資源は、川、港がある」

地域資源としては、高浜港、高浜川、高浜川リバーサイドパーク、稗田川、田戸神社、神明社、秋篠寺などがあります。

本地区は「地域内分権」の取組みで平成 17 年「南部まちづくり協議会」が発足しました。

## ■ 基礎データ

### ①ー1. 港小学校区の人口と世帯数 (平成 21 年 4 月 1 日現在)

・人口	6,261人		(※市全体 44,592人)
年少人口	(14歳以下)	15%	(※市全体 17%)
生産年齢人口	(15歳～64歳)	66%	(※市全体 66%)
高齢者人口	(65歳以上)	19%	(※市全体 17%)
・世帯数	2,375世帯		(※市全体 16,888世帯)

### ②ー1. 面積 (平成 21 年現在)

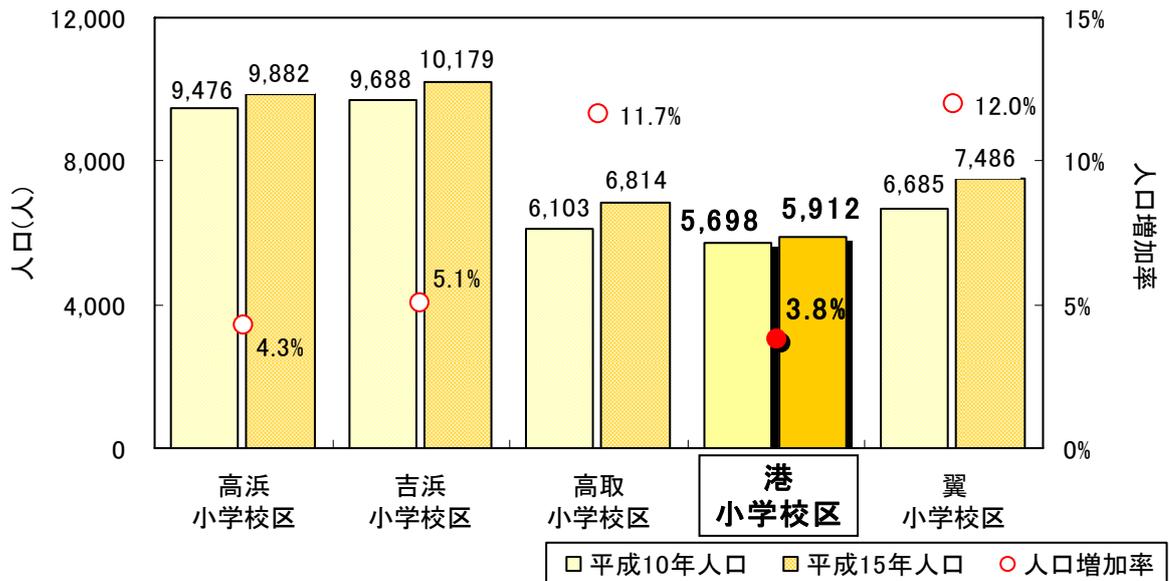
・校区面積	2.35Km <sup>2</sup>
・市街化区域面積	1.85Km <sup>2</sup> (市街化区域面積割合 79.1%)

① -2. 人口

人口増加数と増加率は高浜市最少である

図Ⅰ：人口の推移

資料：住民基本台帳（各年度9月対比）



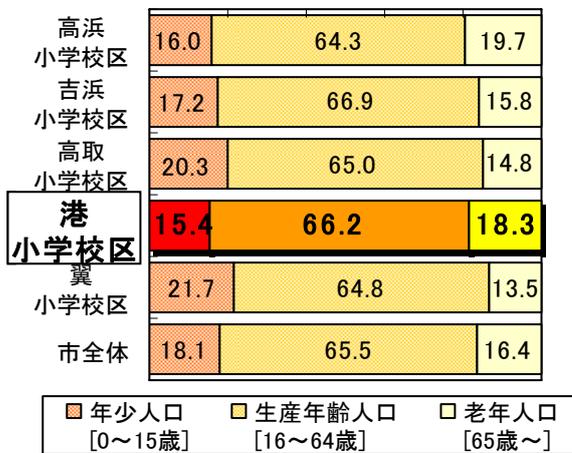
子どもが少なく高齢化が進んでいる

外国人が比較的に多い地域である

図Ⅱ：平成19年年齢別人口割合

資料：住民基本台帳（平成19年9月）

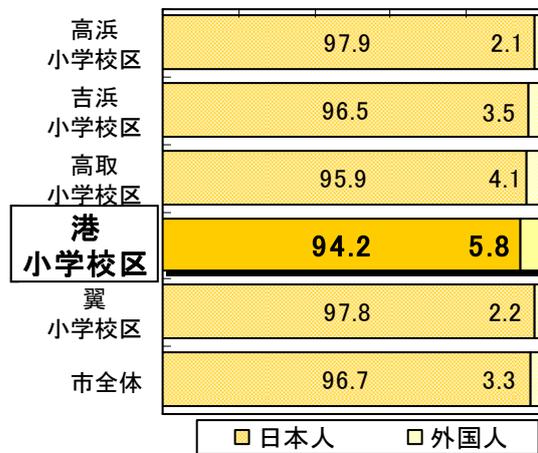
0% 20% 40% 60% 80% 100%



図Ⅲ：平成15年外国人割合

資料：住民基本台帳（15年9月）

0% 20% 40% 60% 80% 100%

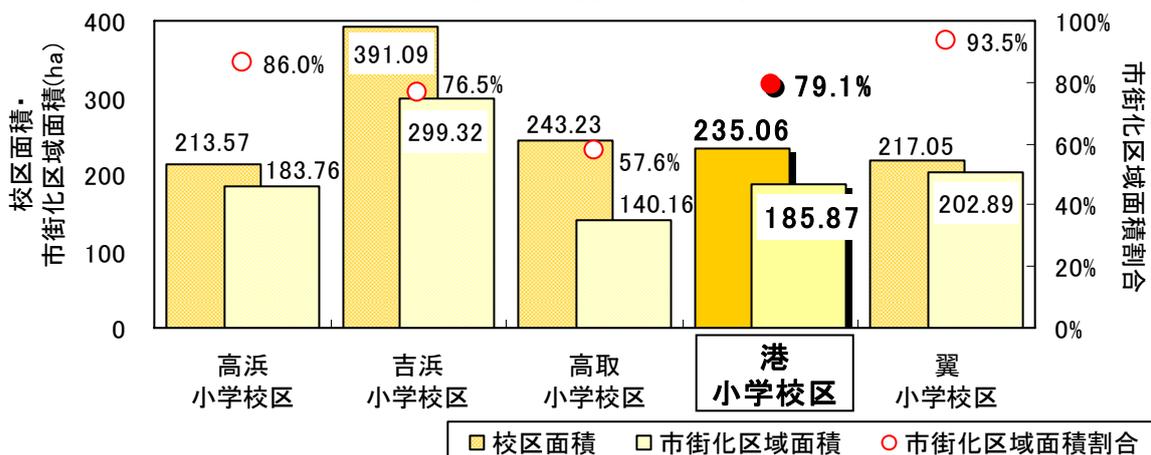


② -2. 面積

地域の面積は平均的の広さがあり市街化は進んでいる

図Ⅳ：平成20年校区面積、市街化区域面積

資料：高浜市資料



### (3) 住民が考える地域の長所と課題

#### ●本地区の長所と課題

長  
所

- ▶ 教育、体育施設など市の資産が比較的充実している
- ▶ 海や川などの自然環境がある
- ▶ 沿岸部に輸送機器などの生産工場が多くある
- ▶ 町内会や各種団体間の連携、融和が進んでいる

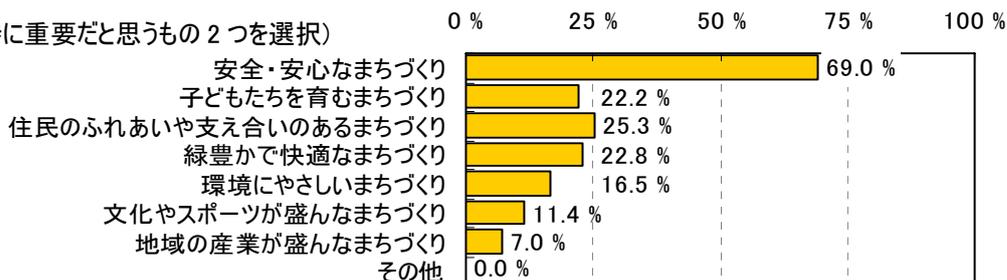
課  
題

- ▶ 交通の便が良くない（特に東西）
- ▶ 買い物や外食が不便（歩いていける範囲に少ない）
- ▶ 古くからの文化、歴史的な行事、建造物など象徴的なものが少ない
- ▶ 住宅地に小工場などが混在しまち並が整然としていない。

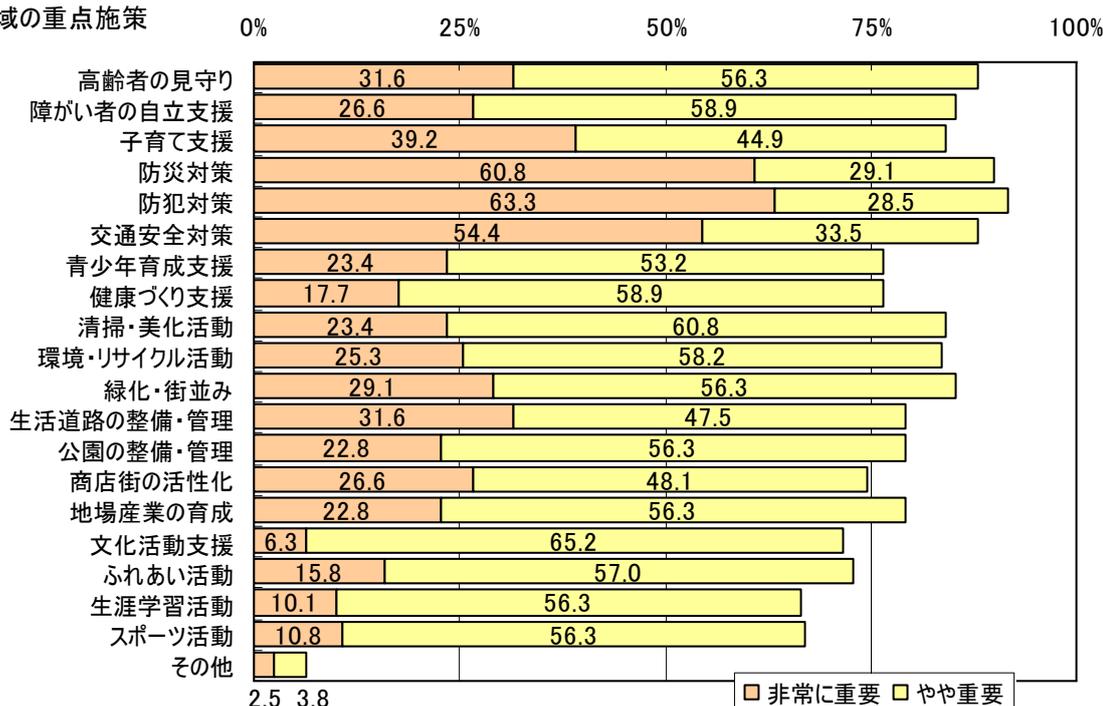
#### ●アンケートからみた地区の課題

- ・ 地域の将来像とし、「安全・安心なまちづくり」が最多、次に「住民のふれあいや支え合いのあるまち」「緑豊かで快適なまちづくり」「子どもたちを育むまちづくり」と続いています。
- ・ 地域の非常に重要な施策は、近年増加する犯罪や大地震が意識され、「防犯対策」「防災対策」が多く、「交通安全対策」「子育て支援」「高齢者の見守り」と続いています。

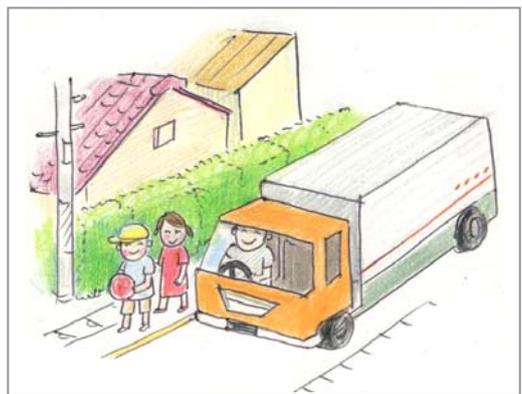
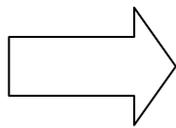
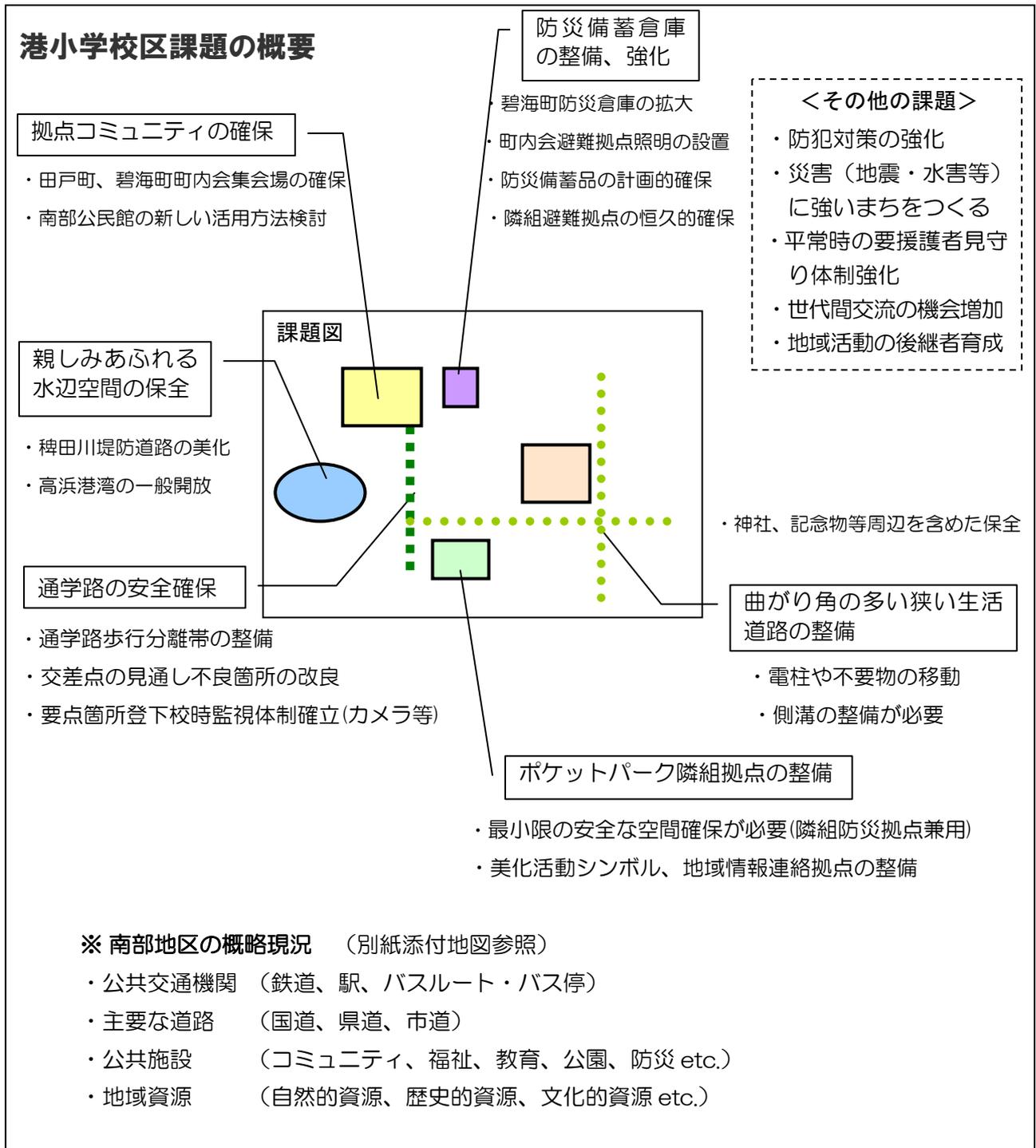
図：地域の将来像(特に重要だと思うもの2つを選択)



図：地域の重点施策



### (4) 現況と新しいまちづくりへの課題



## 2. こんな地域になったらいいね！

### —港小学校区の将来像とまちづくりの目標—

#### (1) 港小学校区の将来像

地方分権の進展や人口減少・少子高齢社会の到来に加え、地方においても厳しい財政状況が続くことが予測されます。これからは、「地域でできることは、地域で行う」「地域だけでできないことは、行政と協働して行う」といった考えのもと、「物の豊かさ」だけではなく、「心の豊かさ」「人と人のつながり」といった価値が重視される「新しい社会」を創り上げていかなければなりません。

そこで、碧海町、田戸町、二池町の高浜市立港小学校区内の住民や各種団体が互いに協力し、地域共通の課題の解決に努めることにより、住民相互の連帯感と自治意識の向上を図るとともに、高齢者、チャレンジド、子どもたちを始め、**すべての住民が共に支えあい、安らぎとふれあいのある心豊かな地域共生によるまちづくりを目指します。**

## 「ふれあいのある心豊かなまち」

#### (2) まちづくりの目標

#### 1 すべての住民が支えあう 地域共生のまち

子どもたちやチャレンジド（障がいを持ったことによって挑戦する課題、使命を与えられた人）、高齢者の皆さん等、地域住民のすべての皆さんが共に支えあう地域共生のまちづくりを目指します。

#### 2 安全で安心して 暮らせるまち

身近に起きる犯罪や今すぐ発生しても不思議でない大地震などから被害を最小にするため、みんなの力、みんなの活動で安全、安心なまちづくりを目指します。

### ふれあいのある 心豊かなまち

#### 3 ふれあいのある 住みよいまち

色々な行事、イベントを通し「心の豊かさ」「人と人のつながり」を持った安らぎとふれあいのある心豊かなまちを目指します。

#### 4 持続する体制づくり

「地域でできることは、地域で行う」といった地域内主権によるまちづくりを持続、推進するための体制づくりを行います。

### 3. こんな地域にしていこう！ —まちづくり戦略計画—

将来像「ふれあいのある心豊かなまち」の実現に向けて、まちづくりの目標を達成するため、次のとおりまちづくり事業を実施していきます。

事業の実施にあたっては、以下の協働タイプに応じて、かつ優先度を設けて、取り組んでいきます。

#### 協働のタイプ

自主：まちづくり協議会が主体となって実施し、市は支援する

協働：まちづくり協議会と市が役割分担をしながら協働で実施する

協力：市が中心となって実施し、まちづくり協議会が協力する

#### 優先度

A：住民の意識が非常に高く、最優先で実施すべき事業

B：住民の意識は比較的高く、優先して実施すべき事業

C：住民の意識は高くないが、実施が必要な事業



#### 港小学校区(南部地区)のまちづくりの基本的構え

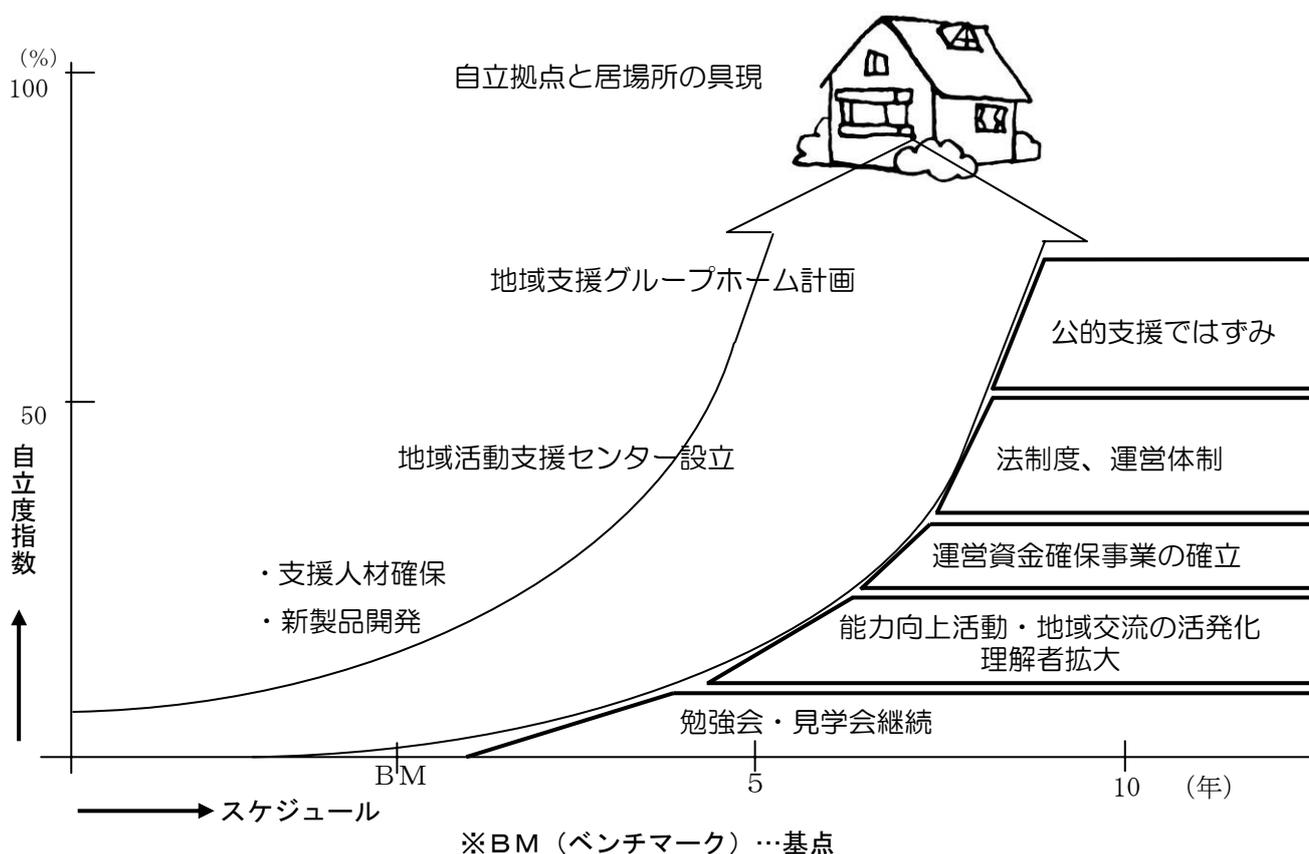
1. 人と人のつながりを大切にします
1. まちづくりの将来に向けて学校と家庭と力を合わせ良いこと  
もの育成に努めます
1. 地域でやるべき事は可能な限り地域のみんなで取り組みます

# (1) チャレンジドの自立支援に関する事業

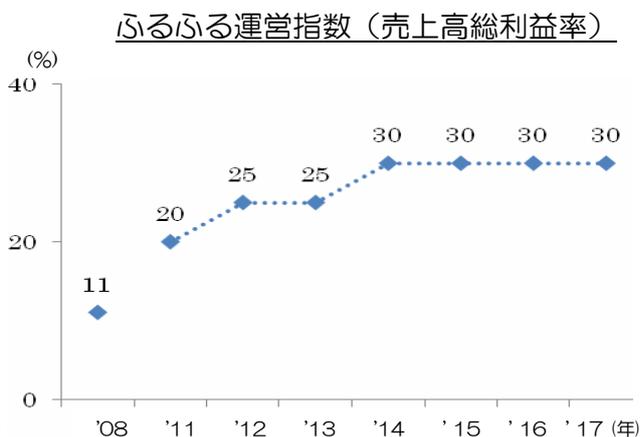
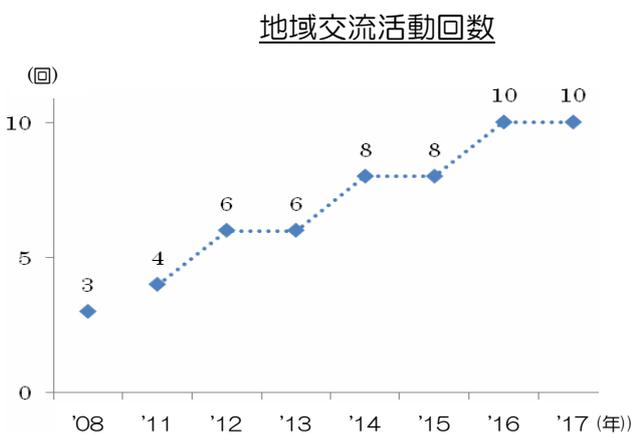
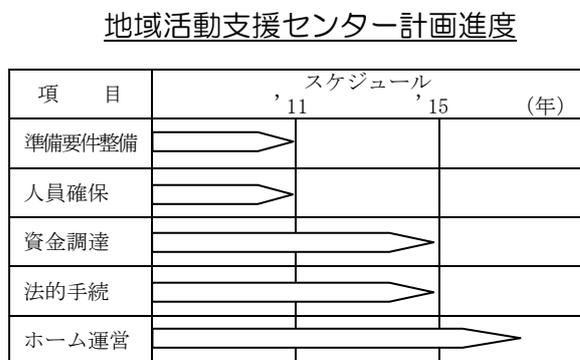
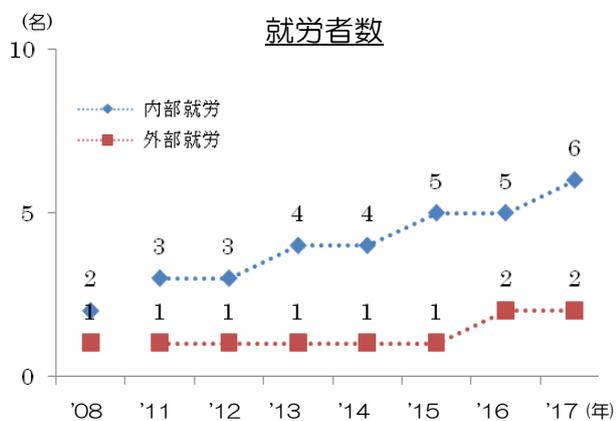


チャレンジドの自立・就労に向けての勉強会、施設見学等、調査研究を行うことにより、チャレンジドが自立していくための支援を行う。 **[まちづくり目標：1]**

事業名	事業内容 (なにを どのように)	協働タイプ	優先度
①チャレンジド支援に関する勉強会事業	＊チャレンジドの就労の場、就労支援の場であるカフェ＆ベーカリーふるふるの運営支援を行う。 ＊チャレンジドの就労に向けての調査研究を行う。 ＊地域支援のグループホームの設立に向けた調査。	協働	A
②見学会事業	＊チャレンジド自立に向け必要なノウハウ習得のためグループホーム等への見学会を実施する。	自主	B
③チャレンジドの能力向上活動事業	＊チャレンジド個々に合わせた能力向上を図るための調査研究等を行い、仕事・製品を確保する。	自主	B
④チャレンジドと地域美化活動事業	＊地域のメンバーとしてチャレンジドも美化活動を行う。	自主	C
⑤チャレンジドと地域の交流事業	＊チャレンジドが自ら自立をめざす姿、活動を広く認知されることを狙いにチャレンジドと地域の方とふれあう活動を推進する。	自主	C



行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2011	2012	2013	2014	2015	2016~
①外部就労者数	CA支援 グループ	1名/年	継続	1名/年			見直し
①内部就労者数	同上	3名/年	継続	4名/年		5名/年	見直し
①自立支援勉強会	同上	1回/3月	継続	地域支援	セツタ-構想		見直し
②他施設見学回数	同上	1回/6月	継続				見直し
③CA 能力向上活動回数	同上	1回/3月	継続				見直し
④CA 地域美化活動回数	同上	1回/月	継続				見直し
⑤CA 地域交流活動回数	同上	4回/年	継続		8回/年		見直し



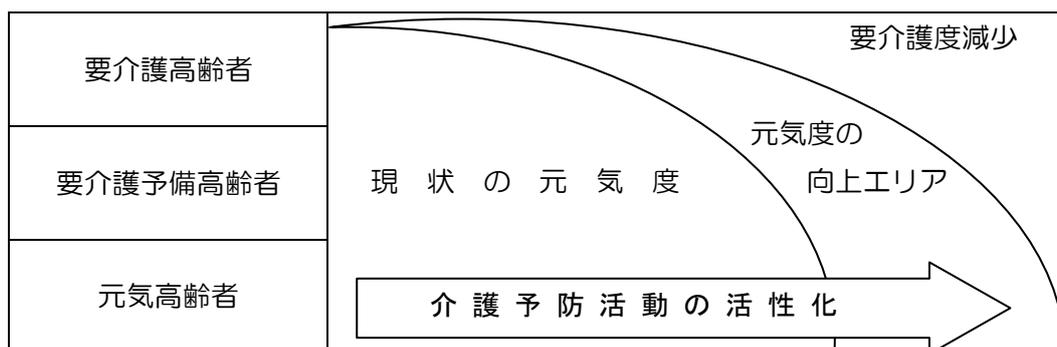
## (2) 介護予防に関する事業

高齢者の方の生活機能の維持または改善を図るため、介護予防事業として、男の料理教室、認知症サポーター養成、健康体操等を行う。 [まちづくり目標：1、2]

事業名	事業内容 (なにをどのように)	協働タイプ	優先度
①健康体操事業	*健康な身体の維持を狙いに、高齢者を対象として体操ビデオ等を活用した教室を開催する。	自主	A
②男の料理教室事業	*加齢と共に退化する挑戦能力の維持、回復を狙い高齢男性を対象とした料理教室を開催する。	自主	B
③認知症サポーター養成事業	*認知症に関する知識の普及により、予防と支援をめざし、認知症サポーター養成講座を市と協働で開催する。	協働	A
④高齢者交流事業	*引きこもり防止、高齢者の実情把握のため種々交流イベントなどを開催する。	自主	B

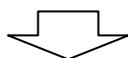


元気度イメージ図



元気度向上効果

- いつまでも元気でひとりで何でもできる！！
- 人の世話にならず人のお世話ができる



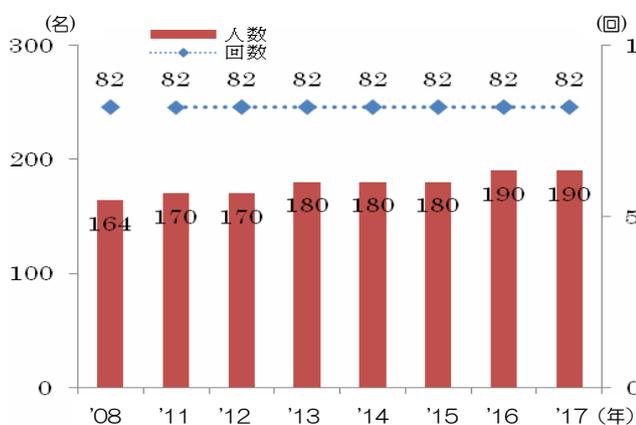
地域活動の仲間として貴重な人が多く確保でき、まちづくりが進む



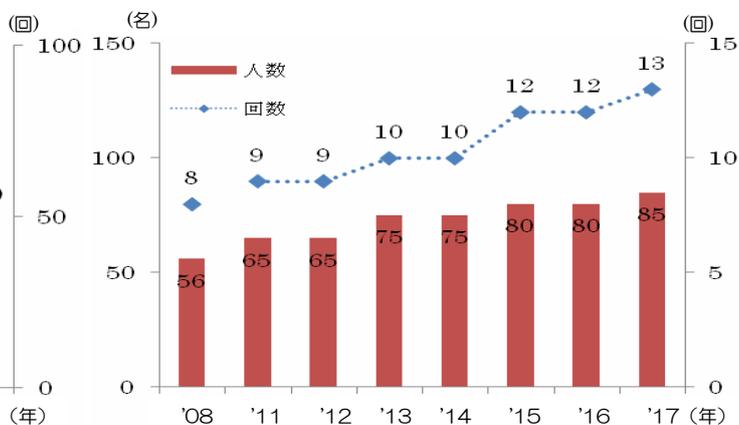


行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2011	2012	2013	2014	2015	2016
①健康体操 参加回数、人数	生きがい グループ	82回/年	継続				見直し
		1700名/年		1800名/年			
②料理 参加回数、人数	同上	9回/年	継続	10回/年		12回/年	見直し
		65名/年		75名/年		80名/年	
②料理で施設 訪問回数	同上	4回/年	継続			6回/年	見直し
③サポーター 養成講座回数、人数	同上	4回/年	継続	5回/年		6回/年	見直し
		40名以上/年		60名以上/年		90名以上/年	
④高齢者交流会 参加回数	同上	2回/年	継続	3回/年			見直し

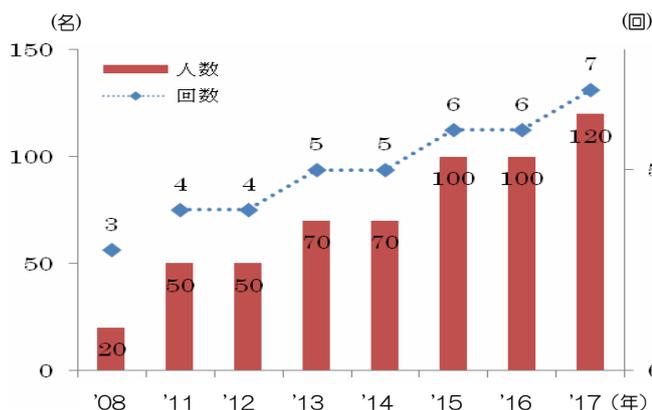
健康体操参加回数・人数



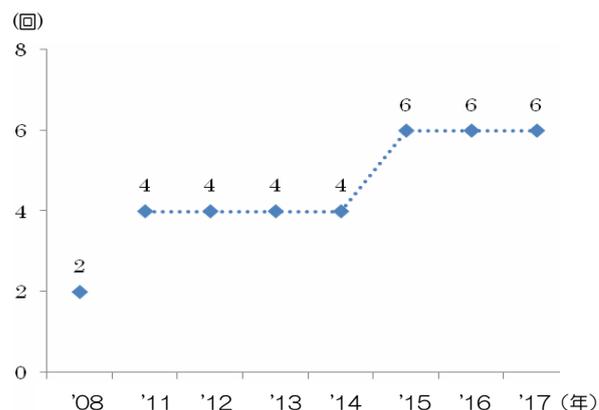
男の料理教室参加回数・人数



認知症サポーター養成講座回数・人数



料理で施設訪問回数



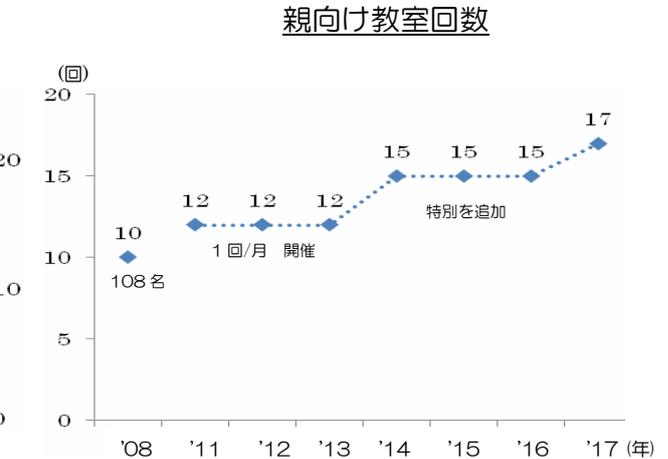
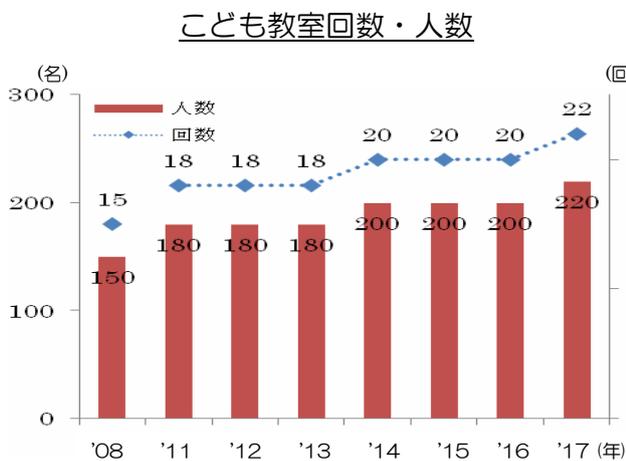
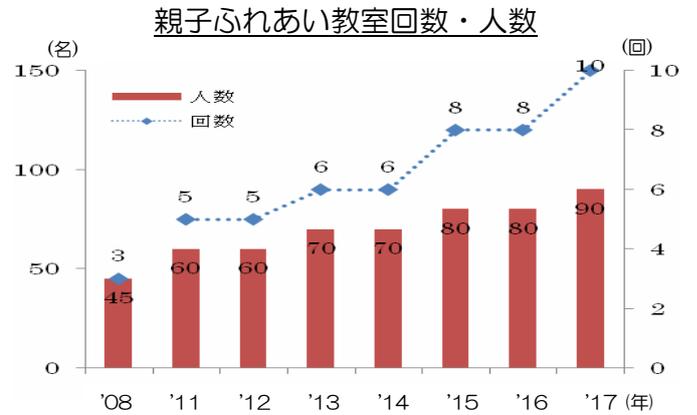
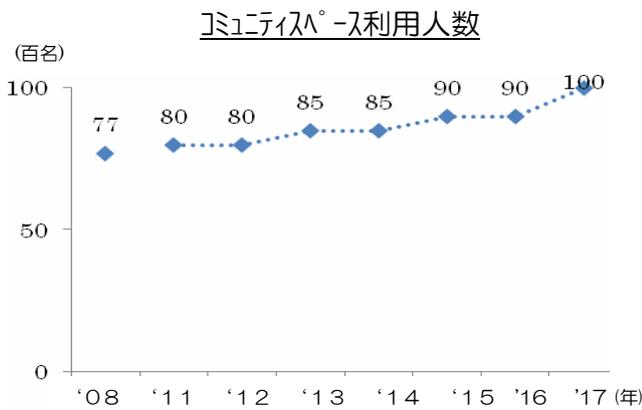
### (3) 子どもの健全育成に関する事業

「南部ふれあいプラザ」2階のスペースを活用し、幼児・児童とその親に向けた種々教室などを開催し、ふれあいの場所づくりを行う。 [まちづくり目標：1、2、3]

事業名	事業内容 (なにを どのように)	協働タイプ	優先度
①子どもの居場所づくり事業	*南部ふれあいプラザ2階のコミュニティスペースを解放して、子どもたちが自由に遊べる場とする。 *子どもたちの自主性を育む活動の検討を行う。	自主	A
②親子ふれあい教室事業	*親子を対象に、地域の方の力を借りて工作教室など各種教室を開催する。	自主	A
③子ども教室事業	*子どもの参加を中心としたお菓子作りや各種勉強会を開催する。	自主	A
④子育て中の親向け教室事業	*子育て中の親向けの各種教室を開催する。	自主	B
⑤地域団体子どもの健全育成補助	*本法人に協力いただく地域団体が自主的に実施した子どもの健全育成事業に対し、その事業に要した経費を補助する。	自主	C



行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2011	2012	2013	2014	2015	2016~
①コミュニティスペース 利用人数	まち協 事務局	8000名/年	継続	8500名/年		9000名/年	見直し
②親子ふれあい教室 実施回数、人数	こども グループ	5回/年 60名/年	継続	6回/年 70名/年		8回/年 80名/年	見直し
③子ども教室 実施回数、人数	同上	18回/年 180名	継続		20回/年 200名/年		見直し
④親向け教室 実施回数	同上	12回/年	継続		15回/年		見直し
⑤地域団体協働 事業実施回数	同上	4回/年	継続				見直し



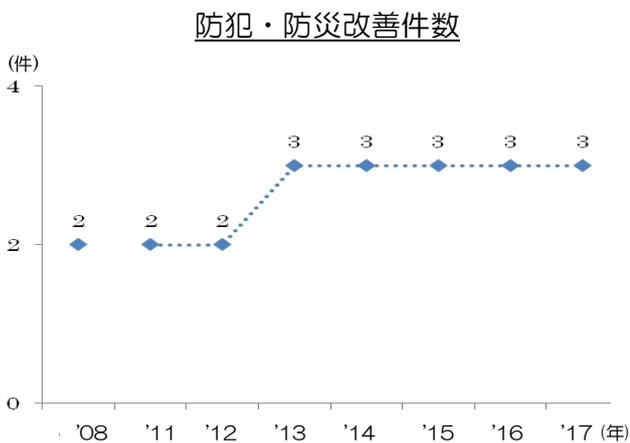
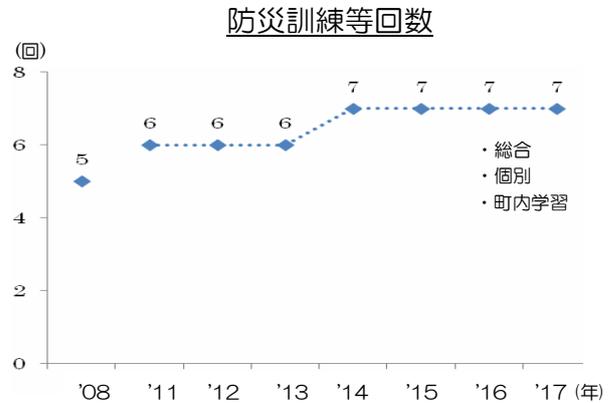
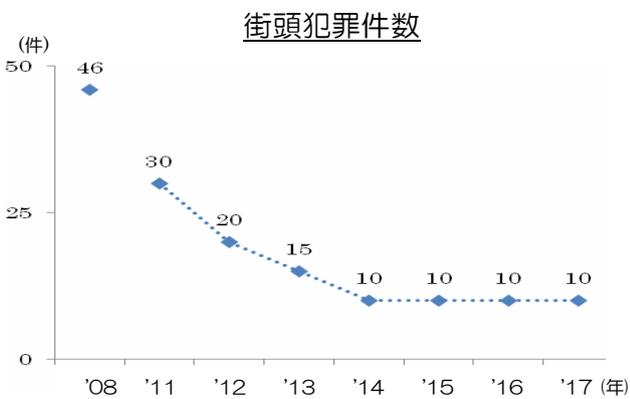
## (4) 地域の防災・防犯に関する事業

「自分を守る・地域で助け合う」の考えのもと、安全のまち、安心のまちをみんなの力、みんなの活動で具現化するため、防災訓練、防犯活動を行う。[まちづくり目標：2、4]

事業名	事業内容 (なにを どのように)	協働タイプ	優先度
①個別防災 訓練事業	*子どもやその親の世代を対象に防災に対する意識向上を図るために、防災関連施設の見学及び体験を実施する。	自主	A
②総合防災 訓練事業	*地域の防災力向上のため、碧海町、田戸町、二池町合同の防災訓練を実施する。	協働	A
③避難拠点 整備事業	*町内会避難拠点、学校避難拠点に対しソーラー、LED等を使用した照明灯の設置、及び隣組拠点の整備を実施する。 *防災倉庫管理を自分達の手と目で確認、実施する。	協働	A
④要援護者 支援活動	*要援護者を支援するための仕組みづくり、平常時活動、緊急時活動体制を構築する。	協働	A
⑤防犯 パトロール事業	*犯罪抑止力として、青色回転灯車両の広域巡回、小学校登下校時の見守りパトロールを実施する。 *町内徒歩巡回パトロールを実施する。 *防犯パトロールをしながらゴミ不法投棄監視を実施する。	自主	A
⑥防犯灯 調査事業	*安全・安心のまちづくりのために、犯罪抑止効果のある防犯灯の効果的利用方法を調査研究する。	協働	A



行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2011	2012	2013	2014	2015	2016~
①個別防災 訓練回数	防災防犯 グループ	2回/年	継続				見直し
②総合防災 訓練回数	同上	1回/年	継続				見直し
③避難拠点 整備件数	同上	避難拠点照明の整備 隣組拠点の確保					見直し
③防災倉庫管理 回数(2カ所)	同上	4回/年	継続				見直し
④要援護者 支援体制整備	同上	平常時支援体制定着(声かけ、見守り活動) 災害時支援体制強化					見直し
⑤地域防犯 パトロール回数	同上	青パト 3回/週 徒歩パト 1回/月					見直し
⑤ゴミ不法投棄 防止対策件数	同上	不法投棄防止活動展開					見直し
⑥防犯灯 整備件数	同上	一軒一灯計画の推進					見直し



資格・講習

資格、講習名	名/年
青パト講習 (実施者証)	10名
防火管理 (認定書)	1名
防災士 (認定書)	1名
救急救命、AED (修了書)	3名

## (5) 公共施設の管理等に関する事業

地域の連携や公園に対する愛着を醸成するための3公園の管理、園児と高齢者とのふれあいの場としてのふれあい福祉農園の管理、地域への情報発信・連絡調整等南部ふれあいプラザの管理等を行う。 [まちづくり目標：3、4]

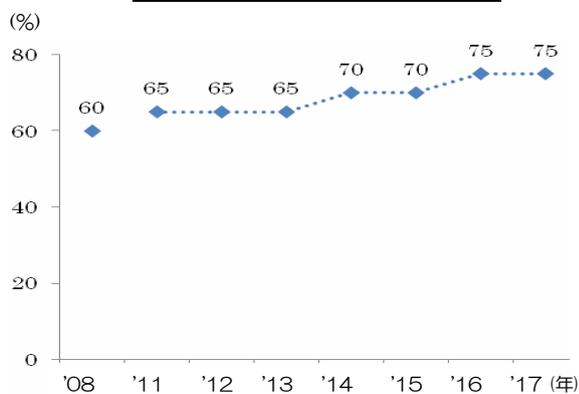
事業名	事業内容 (なにをどのように)	協働タイプ	優先度
①公園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地域の環境良化や公園に対する愛着を醸成するため、定期的な公園内清掃・除草・トイレ清掃、樹木の剪定、修繕等を実施するとともに、花壇の整備等、特色を生かした公園づくりを行う。</li> <li>*各町内会が行う公園を利用したイベントに補助を行う。</li> </ul>	協働	A
②ふれあい福祉農園管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*自然の環境を通し園児と高齢者がふれあえる、ふれあい福祉農園の管理を行う。</li> </ul>	自主	B
③南部公民館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地域資産の有効活用と地域イベントの拡大、充実を狙い、南部公民館の管理運営を行う。</li> </ul>	協働	A
④図書館管理業務事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*ごく身近に知識、教養の資材を提供するため、図書の保管管理、貸出し、返却などの端末操作を南部ふれあいプラザにて行う。</li> </ul>	自主	B
⑤高浜市南部ふれあいプラザ管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*高浜市南部ふれあいプラザの管理運営を行うとともに、会員相互への情報発信・連絡調整を行う。</li> </ul>	協働	A



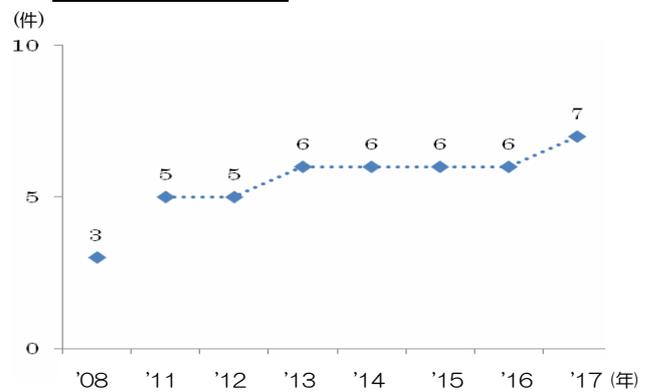


行動目標 (どのくらい)	実施主体 (だれが)	事業スケジュール(年度)					
		2011	2012	2013	2014	2015	2016~
①公園維持管理 整備回数、人数	公園管理 グループ	2~3回/月	継続				見直し
①公園利用の イベント回数、人数	同上	5回/年	継続	6回/年			見直し
②植付、収穫等の 活動回数、人数	農園管理 グループ	35回/年 600名	継続	40回/年 700名			見直し
③南部公民館 の利用者数	公民館管理 グループ	6,000名 以上/年	継続				見直し
④図書貸出し 冊数、利用者数	まち協 事務局		継続				見直し

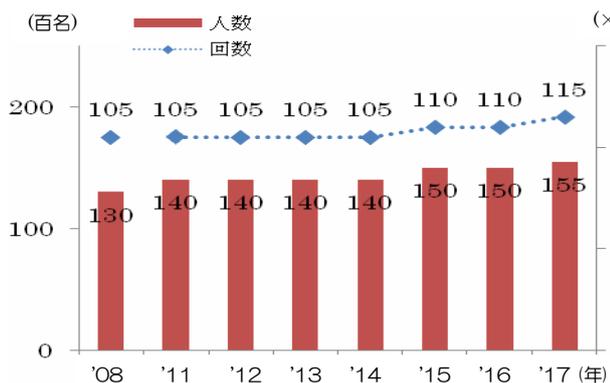
地域住民満足度 アンケート調査



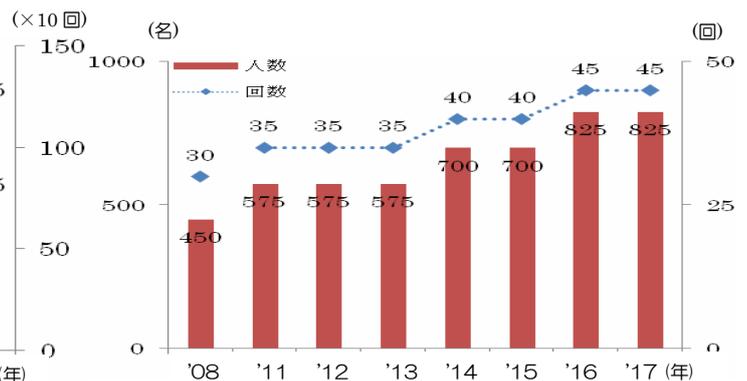
公園イベント回数



公民館利用回数・人数



ふれあい農園イベント回数・人数



■ まちづくり計画イメージ図

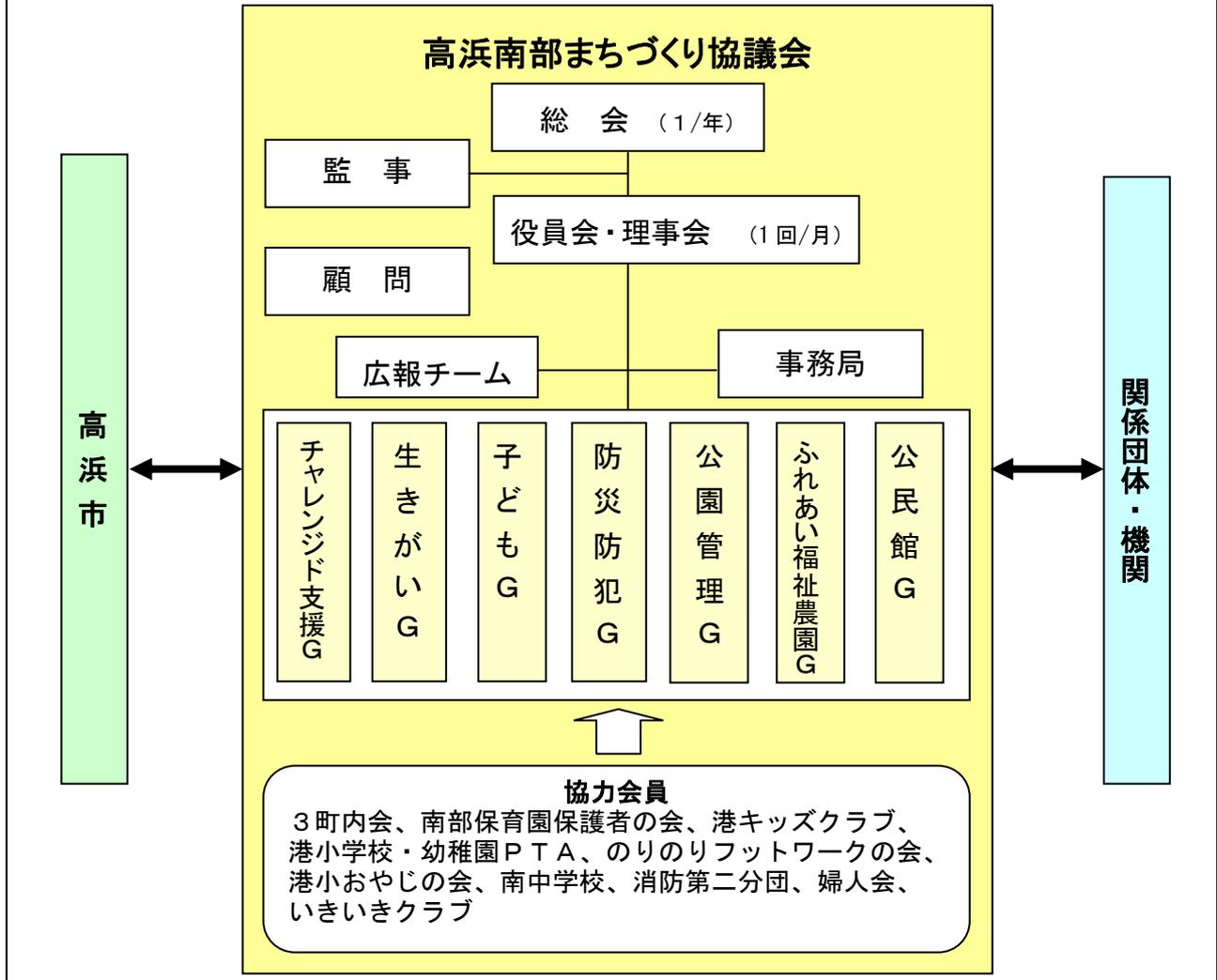


## 4. こうやって取り組んでいこう！

### (1) まちづくり推進の基本的考え方

町内会、港小 PTA、港小学区おやじの会等地域関係団体の協力のもと、事業グループ活動を推進し港小学校区のまちづくりを進める。

#### ■まちづくりの推進体制



### (2) 行政との協働と役割分担に対する基本的な推進方策

地域計画に掲げるまちづくりの目標を達成するため、

1. 高浜南部まちづくり協議会が中心となり、地方主権の考えのもと、各種事業を計画、実施、評価を行う。
2. 地域住民にあっては、事業実施に対して参加することにより、コミュニケーションの形成を図るとともにまちづくりに対する意識を向上させる。
3. 行政は、具現化するための財源を委譲するとともに、地域とのパートナーシップによる後方支援を行う。

## 5. 参考資料

### (1) 策定経過

地域計画策定チーム会議等の開催経過は以下のとおりです。

回	開催日	議 題
第1回	平成20年10月 2日(木)	フリーディスカッション
第2回	平成20年11月10日(月)	フリーディスカッション
第3回	平成20年12月 7日(日)	過年度データまとめ、全体構想
第4回	平成21年 1月11日(日)	21年度計画検討
第5回	平成21年 4月25日(土)	21年度計画へ反映、盛り込み
第6回	平成21年 5月24日(日)	第4回通常総会21年度計画承認
第7回	平成21年 7月 8日(水)	21年度第4回役員会説明
第8回	平成21年 7月17日(金)	21年度第4回理事会説明
第9回	平成21年 8月12日(水)	21年度第5回役員会承認
第10回	平成21年 8月21日(金)	21年度第5回理事会承認
まとめ	平成21年 9月15日(火)	行政当局へ提出、以後調整、まとめ

### (2) 策定メンバー

地域計画策定チームのメンバーは以下のとおりです。

(順不同)

	氏 名	所属・役職
委員	神 谷 義 国	まちづくり協議会 事務局長
委員	阿知波 勝 義	まちづくり協議会 広報リーダー
委員	高 橋 秋 人	まちづくり協議会 公園リーダー
委員	神 谷 豊	まちづくり協議会 防災リーダー
委員	清 水 恵 子	まちづくり協議会 事務局員
委員	生 田 豊 利	まちづくり協議会 農園リーダー
委員	加 藤 えり子	まちづくり協議会 事務局員
委員	内 村 克 則	まちづくり協議会 CAリーダー
委員	神 谷 通 夫	まちづくり協議会 生きがいリーダー
委員	山 口 清 隆	まちづくり協議会 副理事長
委員	牧 野 和 博	まちづくり協議会 子どもリーダー
委員	神 谷 環 光	まちづくり協議会 地元企業代表
特派員	山 本 時 雄	高浜市都市整備グループ
特派員	弓 削 健 二	高浜市介護保険グループ
特派員	神 谷 義 直	高浜市地域政策グループ
特派員	中 野 静 江	高浜市介護保険グループ

## (3) 関連資料

No.	項目	内容	備考															
1	正会員数	各年度 正会員推移 (名) <table border="1"> <tr> <td>17年</td> <td>18年</td> <td>19年</td> <td>20年</td> <td>21年</td> </tr> <tr> <td>84</td> <td>93</td> <td>100</td> <td>83</td> <td>88</td> </tr> </table>	17年	18年	19年	20年	21年	84	93	100	83	88						
17年	18年	19年	20年	21年														
84	93	100	83	88														
2	各年度取組み事業数	各年度 取組み事業数推移 (件) <table border="1"> <tr> <td>17年</td> <td>18年</td> <td>19年</td> <td>20年</td> <td>21年</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>農園</td> <td>図書</td> <td>公民</td> </tr> </table>	17年	18年	19年	20年	21年	5	5	6	7	8			農園	図書	公民	
17年	18年	19年	20年	21年														
5	5	6	7	8														
		農園	図書	公民														
3	特別活動項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>活動項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18年</td> <td>3町内公園イベント実施(恒例化)</td> </tr> <tr> <td>19年</td> <td>3町内会と連携全地域徒歩パト開始</td> </tr> <tr> <td>20年</td> <td>3町内主要道路に青色防犯灯設置</td> </tr> <tr> <td>20年</td> <td>チャリゾドワークスペース設置</td> </tr> <tr> <td>21年</td> <td>非常時防災食による、子ども・要援護者訪問開始</td> </tr> </tbody> </table>	年度	活動項目	18年	3町内公園イベント実施(恒例化)	19年	3町内会と連携全地域徒歩パト開始	20年	3町内主要道路に青色防犯灯設置	20年	チャリゾドワークスペース設置	21年	非常時防災食による、子ども・要援護者訪問開始				
年度	活動項目																	
18年	3町内公園イベント実施(恒例化)																	
19年	3町内会と連携全地域徒歩パト開始																	
20年	3町内主要道路に青色防犯灯設置																	
20年	チャリゾドワークスペース設置																	
21年	非常時防災食による、子ども・要援護者訪問開始																	
4	受講講座と取得資格名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県安全まちづくり推進講座</li> <li>・日本防災士機構試験 防災士認証3名</li> <li>・普通救命講習(岡崎・刈谷)</li> <li>・愛知防災リーダー研修(岡崎・刈谷)</li> </ul>																
5	青パト実施者証取得	各年度 実施者証取得推移 (名) <table border="1"> <tr> <td>17年</td> <td>18年</td> <td>19年</td> <td>20年</td> <td>21年</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>34</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>48</td> </tr> </table>	17年	18年	19年	20年	21年	30	34	38	42	48						
17年	18年	19年	20年	21年														
30	34	38	42	48														

南部まちづくり協議会 まちづくり計画

一港小学校区 地域計画一

2011～2020

2009年8月

編集・発行

特定非営利活動法人

高浜南部まちづくり協議会